

2026年度 年間指導計画

鹿島朝日高等学校

教科	地理歴史	科目	地理探究	履修区分	必修修	使用教科書	東京書籍『地理探究 (701)』
添削指導回数	12	面接指導回数	4	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座 東京書籍インターネット講座

学習の目標

- ① 地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付ける。
- ② ①をふまえ、選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付ける。
- ③ ①、②をふまえ、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を構想する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付ける。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する(タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ)。 各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。
面接指導	●視聴票:面接指導の出席と合わせ、公共①~公共②の計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則1時間(6割減免)まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導(視聴票を香む)を全て修了後に受験。
単位修得	(認定)に当たっての基準
評価方法	各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名(教科書ページ)	添削指導 No.	面接指導		複修履修 NHK高校講座	単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期			観点	評価規準
p.12~33 世界の地形	1					知識・技能	人間の生活の基盤である地形の重要性について認識するとともに、それを空間的規模と形成要因、人間生活との関係に着目しながら理解している。
						思考・判断・表現	世界の大地形や小地形の形成過程を考察し、その特徴を踏まえながら、人間生活との関係について表現している。
						主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.34~57 気候と自然環境 気候と人々の生活	2	①	I・Ⅲ期	1,4,5,7 P.14~17 P.38~43 P.80~ P.84		知識・技能	地球規模でみられる気温と降水量の分布の特徴とそれが生じる原因についての理解を踏まえ、気候の特徴について理解している。気候区の特徴となる気温と降水量の地域ごとの違いについて、各々の気候区の特徴を踏まえて認識するとともに、人間生活との関係について理解している。
						思考・判断・表現	気候の特徴と植生、土壌との関係について多面的・多角的に考察している。気候区の特徴となる気温と降水量の地域ごとの違いについて、各々の気候区の特徴を踏まえて考察するとともに、人間生活との関係について表現している。
						主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.60~77 日本の自然環境と自然災害 世界の環境問題	3					知識・技能	日本の自然環境の特徴について地形と気候の視点から理解するとともに、今後発生する可能性のある自然災害について整理する。地球規模での環境問題が深刻化している背景・要因について多面的・多角的に理解している。
						思考・判断・表現	今後発生する可能性のある自然災害について整理した上で、防災・減災へ向けた取り組みについて多面的・多角的に考察する。地球規模での環境問題の現状について考察するとともに、有限な地球環境を持続的に利用するための取り組みについて表現している。
						主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.80~103 産業の発展と社会的分業 農林水産業 食料問題	4					知識・技能	産業の高度化に伴い社会的分業が複雑化し、地域的分業として表れていることを把握するとともに、それが地球規模で広がっていることを理解している。農林水産業の立地とその形態について地域性との関わりから把握するとともに、アグリビジネスの活動が環境を超えて産地と消費地とを結びつけていることを理解している。世界の食料供給の地域的な偏りが、飢饉や食糧、食料自給率低下といった食料問題を生み出す背景になっていることを理解している。
						思考・判断・表現	産業の高度化に伴い社会的分業が複雑化し、地域的分業として表れていることを地球規模に立脚しながら考察している。農林水産業の立地とその形態、アグリビジネスの活動を通じた環境を超えた産地と消費地との結びつきについて多面的・多角的に考察している。食料問題を生み出す背景について世界の食料供給の地域的な偏りとの関わりから考察した上で、問題の解決策について表現している。
						主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.104~141 エネルギーと鉱産資源 資源・エネルギー問題 工業の立地と工業地域の変容 第三次産業	5	②	I・Ⅲ期	10,12,14, 15 P.98~ 101 P.128~ 131 P.156~ P.159		知識・技能	資源の分布や消費の地域的な偏りが国際取引を成立させていることを踏まえた上で、各国の掲げる資源ナショナリズムやエネルギー政策の違いが国際対立の一因になっていることを理解している。化石燃料への依存度を減らし、再生可能エネルギーの普及を進めていくことは、地球温暖化の緩和やエネルギー安全保障上、重要であることを理解している。第三次産業の特徴や変化について把握するとともに、流通産業の発達や情報通信産業の集積、医療・福祉産業の圏による違いに着目しながら、それらの現代的な位置づけ・課題について理解している。
						思考・判断・表現	資源の国際取引を成立させている背景について資源の分布や消費の地域的な偏りとの関わりから考察した上で、各国の掲げる資源ナショナリズムやエネルギー政策によって生じる国際対立の解決策について表現している。地球温暖化の緩和やエネルギー安全保障の観点から、再生可能エネルギーの普及のあり方について多面的・多角的に考察している。
						主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.142~157 交通・通信 貿易と経済連携 観光	6					知識・技能	交通・通信の発達による世界の結び付きの現状について多様な手段の特徴や地域特性と関連づけて把握するとともに、交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて理解している。貿易の発達が世界をグローバルにまたたは地域ごとに結び付けてきたことを把握するとともに、それによって生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて理解している。
						思考・判断・表現	交通・通信の発達による世界の結び付きの現状について多様な手段の特徴や地域特性と関連づけて考察するとともに、交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて表現している。貿易の発達が世界をグローバルにまたたは地域ごとに結び付けてきたことを考察するとともに、それによって生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて表現している。
						主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.158~167 人口 人口問題	7					知識・技能	人口分布と人口増加の地域的傾向について把握するとともに、それらに影響を与える人口転換や人口移動について理解している。発展途上国と先進国各々が抱えている人口問題について多面的・多角的に理解する。
						思考・判断・表現	人口分布と人口増加の地域的傾向とそれらに影響を与える人口転換や人口移動について多面的・多角的に考察している。発展途上国と先進国各々が抱えている人口問題について多面的・多角的に理解する。
						主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.168~185 村落・都市 居住・都市問題	8	③	Ⅱ期	P.176~ 179 P.196~ 197 P.204~ 205 P.218~ 223		知識・技能	村落・都市の機能や形態、分布の特徴、都市システム都市内部の機能分化や大都市圏の発展過程について多面的・多角的に理解している。発展途上国と先進国各々の都市・居住問題への対応による新しい都市の動きや日本の都市が直面している課題について理解している。
						思考・判断・表現	村落・都市の機能や形態、分布の特徴、都市システム、都市内部の機能分化や大都市圏の発展過程について多面的・多角的に考察している。発展途上国と先進国各々の都市・居住問題への対応による新しい都市の動きについて考察するとともに、日本の都市が直面している課題について的確に表現している。
						主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.186~208 生活文化の地域性 民族・言語・宗教 民族問題 現代の国家と領土問題	9					知識・技能	文化と環境との相互関係や文化が変容する理由について把握するとともに、衣食住などの生活文化が環境との相互作用の中で形成され、歴史的に変容することを理解している。文化と環境との相互関係や文化が変容する理由、衣食住などの生活文化が環境との相互作用の中で形成され、歴史的に変容することを、多面的・多角的に考察している。民族・言語、国家の相互関係について把握するとともに、文化としての宗教とその多様性について理解している。
						思考・判断・表現	生活文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の場面などを根拠を示して表現している。民族・言語、国家の相互関係について把握するとともに、文化としての宗教とその多様性について理解している。国家領域や領土をめぐる問題を世界的な視野でとらえ、問題の現状や要因、解決に向けた取り組みについて考察している。
						主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.209~227 東アジア	10					知識・技能	中国と韓国を中心に、東アジアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。
						思考・判断・表現	中国と韓国を中心に、東アジアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し、考察している。
						主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.228~255 東南アジア 南アジア 西アジアと中央アジア 北アフリカとサハラ以南アフリカ	11	④	Ⅱ期	P.262~ 265 P.268~ 273 P.280~ 283		知識・技能	東南・南・西アジアと中央アジアにおける工業化の進展や地域格差など、さまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。北アフリカとサハラ以南アフリカの両地域における地理的事象の共通点と相違点に着目しながら、各々の地域の特徴について理解している。
						思考・判断・表現	東南・南・西アジアと中央アジアにおける工業化の進展や地域格差など、さまざまな事象を項目ごとに整理し、考察している。北アフリカとサハラ以南アフリカの両地域における地理的事象の共通点と相違点に着目しながら、各々の地域の特徴について多面的・多角的に理解している。
						主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
p.256~293 ヨーロッパ ロシア アングロアメリカ ラテンアメリカ オセアニア 日本の地理的諸課題を読み解く	12					知識・技能	ヨーロッパの地域統合に着目して、産業や都市の変化、地域格差などの地理的事象を関連づけることを通じて地域理解を深めている。ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化、産業地域の変化など、さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。ラテンアメリカにおける自然環境や歴史・文化、産業、開発などのさまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。
						思考・判断・表現	ヨーロッパの地域統合に着目して、産業や都市の変化、地域格差などの地理的事象を関連づけることを通じて考察している。ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化、産業地域の変化など、さまざまな地理的事象を項目ごとに整理し、考察している。ラテンアメリカにおける自然環境や歴史・文化、産業、開発などのさまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察している。
						主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

全課程から問題を選出し、出題する。